



大村市南部運動広場（三浦地区）

書済みのものを利用し、毎月抜き打ち検査を実施している。なお、加工冷凍食品の使用頻度は大村市の場合、極めて少ない状況である。外国の冷凍食品については今回の事件において該当した業者は全く利用していない。

今後、食材の購入については、できるだけ地産地消を心がけ、これまで以上に食の安全を確認し、安全・安心そして、信頼のおける食材の選定、購入を行っていききたい。

②現在4調理場で2つの献立を採用しており現状の仕入れについてはそのまま継続していき

いと考えている。敷地内に建設用地を確保することや、建設費の問題を考えると、今後とも1調理場の建設を進めていききたいと考えている。

**市長** (2)隣接する建物との防護フェンスの設置と、水路の側溝整備については、確かに地域から要望をいただいている。厳しい財政状況を勘案しながら、平成21年度以降に年次的に整備をしていきたい。

(その他の質問事項)

- ・道路特定財源について
- ・農政のあり方について
- ・認定こども園について
- ・さつき台地区下水工事について

大村市の未来を想像し、  
みんなで創造しましょう

**園田議員**

(1)道路行政について

事例として現在行われている上諏訪地区の道路整備について完成して間もないカラー舗装歩道を下水管理設のため掘り返している。これは庁内における連携が不十分であったための、二重工事である。これに関して、ロスが生じており、市民の税金が投じられている。下水道工事

においては、上諏訪や木場地区に関して整備計画があり、今後、同様の問題が生じるのではないように庁内での連携を図ると共に、市内道路整備における無駄のない公共工事を徹底すべきである。

**都市整備部長**

(1)従来から、道路工事においては、道路の掘り返し防止を図るために、毎年4月に市、九州電力、N T T等の工事関係部署が集まり掘削協議会を開催して、工事情報の交換と調整を行っている。今後さらに関係部署との計画、連携等を図っていききたい。

ご指摘の場所は、沿線の宅地開発申請に伴い、下水道に接続したいとの緊急要望を踏まえ、下水道部局と協議し、歩道内に布設することで下水道管渠の布設を許可したものである。

**水道事業管理者**

上諏訪の下水道工事の復旧工事は、直接工事費で260万円程度かかっている。開発されたところは、5年先であろうと260万円かけて工事は将来的にしていかなければならない。定期的に開発申請が出ていけば、道路工事とあわせて事前の引き込みができたと思っている。

(その他の質問事項)

インフルエンザワクチンの補助費について(12月議会後の進捗

状況)

- ・病児・病後児保育について
- ・こども政策における庁内連携について
- ・市立大村市民病院について
- ・「話してみゆーか」の運営状況について
- ・天正少年夢まつりについて
- ・歳入確保対策における自主財源確保について(9月議会後の進捗状況)

住宅問題について

三城城址について

**恒石議員**

(1)都市整備行政について

①中岳地区の南川内線の拡幅工事について、工事はどのような計画になっているのか。

②中岳町の国道444号線からの水が畑に入り込み作物が作れないとの相談があったが、その対応策を問う。

③住宅問題について、これまでも質問してきたが、現在、竹松アパートの建て替え工事が行われている。市営住宅を街部ばかりでなく分散して建てられないか。黒木地区は、環境も良く、実際引っ越されてきた方もいる。